

No. 56

NEWS LETTER

The Friendship Force of Aichi

2003年6月発行



FFI の新しい会長 Susie Smithさんを迎えて

日本大会・長崎

第 17 回 FF の日本大会が 4 月 19 日(土)FF 長崎クラブの主催で開催された。FF 本部からは新しい会長 Ms. Susie Smith とプログラム・サービス・コーディネーターの Ms. Debbie Powell を迎え日本支援委員会の石井嗣代さん、全国 21 クラブから 113 名が出席し、愛知クラブからは 8 名が参加した。新しい会長を迎えての日本大会で FFI の今後の運営について深い関心が寄せられたが、会長は 2003 年度の新しい目標を掲げて、我々の主な目的である友情と異文化間の相互理解を築き上げることを強調された。

フレンドシップ・フォースの発展に向けて

Susie Smith

「ひとつのフレンドシップの交換が人々にどのような影響を与えることが出来るか」ということを考えましょう。FF が人々の関心と参加を得るためには新鮮で、刺激的であり続けることが大切だと思います。また人種の異なる人々の関心に訴えるような、多種多様なプログラムを計画することが効果的だと思います。しかし、私たちの主な目的はあくまでも友情と異文化間の相互理解を築き上げることです。



Susie Smith FFI President

Susie Smith さんのレポートからー

- * 大抵の団体が発展途上において、成長と変化で特徴付けられる時期があるものです。FFI は、現在「共同の創意に富んだ、若返りの時期」と呼ぶにふさわしい時期にあります。この時期は、従来の状況下ではうまく起動したものの、今日の世界ではもはや通用しない形から抜け出したものだとして認識せねばなりません。私たちは建設的な変化を生み出すために、共に活動しなければなりません。私たちの使命は変わりませんし、この使命を実行するために用いる主な手段もホームステイによる友情の交換で、変わってはいないのです。
- * FF は、皆様が積極的に参加して、初めて強固な団体になるでしょう。当団体の成功の鍵は、共に活動し、お互いの役割と才能を尊重しあう私たち全員が握っているのです。どうか私と一緒に、いかにして変化し続けることが出来るかを模索してください。

アリゾナの友との再会 愛知で 3 月 29 日～4 月 4 日

Arizona の客人を迎えて ED 服部 守

一昨年の秋、お世話になったセントラル・アリゾナの会員 18 名を受け入れ、無事交換行事が終了しました。昨年 10 月中旬から翌 3 月まで計 15 回のメール交換を相手 ED として、諸準備に備えましたが、皆さんのご努力で、アンバサダーも好印象を持って帰国されたようです。名古屋で見てくれた名残惜しそうな表情が何よりの証左であり、帰国後の会合で皆が名古屋での好印象を語っていたとも Albert より聞いています。彼から届いたビデオによると、米子では全会員が凡ての行事に参加して、充実した 1 週間を送ったようです。これは地域性にもよりますが、羨ましく思われました。最後に私の失敗談：洗面所のない日本式の便所で夫人が歯磨きをしたのに気づくも後のまつり、相手の生活様式を考慮した説明が不足していたことを反省しています。

初めてのホスト

武藤美代子

マーティーナ & グレン・クック夫妻を受け入れました。空港に見送りに行った日、マーティーナがハグし、次にグレンがハグした時思わず泣けてしまいました。とても笑顔の優しい気持ちの温かい二人でした。もっぱら毎朝食後の会話の主題は、キリスト教、神道、仏教そして文化でした。彼らは毎朝 5 時に起き、二人で聖書を読みグレンはその後詩を書き、それからシャワー、朝食という生活でした。これまでの経験で、男性とはあまり会話が進まなかったのですが、グレンは元牧師ということで、メールで挨拶をする時に、私が聖書に興味があると告げたところ、どっさり聖書やそれに関する資料を持って来、滞在中も毎日聖書について説明してくれました。夕食はほとんど外食でしたが、一日だけホームパーティーをし、一緒に英語で童謡を歌ったり、私と息子がピアノ演奏をしたりしました。やはり、この時が一番楽しかったです。



再会を喜ぶアリゾナと愛知のメンバー

アリゾナの友人

西村貴美子

ルーサンは今まで会ったどの人より FF の精神を理解している方です。来日前メールでどこに行きたい場所があるかと尋ねたら、有難う、でも貴方と貴方の家族に会うのが一番の楽しみなのよとの返事が返ってきました。一週間共に過ごして単なる社交辞令でなく彼女の心からの気持ちであることが良く分かりました。家族のこと自分の住む町のことなど本当によく話をし、また、勉強家で、見たり、聞いたり、食べた物を克明に記録していました。夫が「しゃべっているか、書いているかのどちらかだね」と笑ったほどでした。梅酒を気に入り、ワインよりおいしいと言ってくれ、アメリカへ来てビジネスが出来ると冗談を言っていました。帰国後もまめにメールをくれます。昨日のメールには「井伏鱒二の「黒い雨」を読んだ、とてもショックだった」と書いてありました。



神本さんのマジックを楽しむアンバサダー

アジア大会に参加して**中川 孝一**

ニュージーランドで開催されたアジア・パシフィック会議に参加いたしました。Waipuna Hotel にチェックインしました。(ワイプナの意味は泉の水) 南側に大きな湖があり、ヨットが悠々と走っていてすばらしい風景でした。着いた初日は登録とウエルカムパーティーがあり、楽しい始日となりました。第 1 日目はアトランタの本部からの代表者の挨拶があり、各代表の挨拶の後、バグパイプ演奏によるフラッグパレードがありました。第 2 日目は、皆さんの意見をうまく集約する方法を検討するワークショップがあり、もっとゆっくり話すように依頼しましたところ判りやすくなりました。インドから参加した人たちの「インディアンフォーク物語」の出演を楽しみ、夜はパーティーがありアジア・パシフィック会議の 20 周年を記念して、ケーキカットがありました。次回の AP 会議はニューカッスル(オーストラリア)に決まりました。オークランドで 3 泊のホームステイをした後、5 年前 FF 愛知がネルソン空港前に植樹した木の前で撮影した後、ホストファミリーを再訪し、旧交を温め、パーティーを楽しみました。

**ホームステイは楽しい****加藤八郎**

デンバーは標高 1 マイルにあり、マイル・シティーと呼ばれロッキー山脈の裾野に広がる人口 190 万の都市。私は 22 年前に一度訪れたことがあり、再度の訪問は懐かしい気持ちでいっぱいでした。新しいデンバー国際空港にホストのビル・アンダーソンが私達を出迎えに来てくれました。アメリカの家庭生活については比較的知っているつもりでしたが、一緒に生活するとなると多少の戸惑いもありました。ホストは退職した同じ年代の夫婦であり、朝食も標準的なアメリカの食事、ジュース、コーヒー、各種シリアル、卵料理、パンケーキ、などと毎日変えて出してくれました。夕食は鶏とか肉の手料理でワインもビールも毎晩出されました。一日はご子息がハンティングで獲ってきた雉を料理してくれました。弾が入っているかもしれないから気をつけて食べるように言われ恐る恐る頂きました。私たちもメキシコ料理に招待したりしました。毎日、車が RTD と呼ばれる鉄道に乗ってデンバーおよびその周辺の見物に連れて行ってもらいました。ホームステイは多少気を使うことがありますが、FF の友人として本当に家族のように接してもらえますので、節度は守りながらも何でも気兼ねなく行動することが出来、他の旅行では出来ない貴重な経験をしました。アンダーソン夫妻には感謝しています。

英語のヒント**新美 久美子**

1. 「私にとっては最高のホスト・ファミリーでした。

感謝しています」

無意識のうちに

You were the greatest host family for me.

Thank you very much for your kindness

. と、言ってしまうがちですが、for me をつけると他の人に不満があったかもしれないが、私にとっては.... と、いう含みが出ます。又、

for your kindness も unfriendly で水臭い感じを持つネイティブの方が多いようです。シンプルですが、

You were the greatest host family.**Thank you very much.**

で十分に感謝の気持ちは伝わるとおもいます。

2. 「お気の毒でしたね。」 × I feel sorry for you.

と、言うとき相手を見下した態度にとられます。

I'm (very) sorry to hear that.**That's (really) too bad.**

が良いでしょう。

支援委員会の石井嗣代さんに聞く

1. 現在世界にはいくつのクラブがありますか
* 現在 58 カ国、約 350 のクラブがあります。
2. 新しいクラブは？
* インドにナシーク、シンガポールに 2 つ目のクラブ、ナンヤン、カナダにまた 1 つ、グレーターハミルトン アンド パーリントン、ロシアにロストフ オン ドン、ドイツのニュールンベルグ市にババリア、ブラジルにフローリアナポリスとクチコバメトロポリタン、コスタリカにヘレディア、ペルーにアレクイッペなどが今年出来たクラブです。日本にもまもなく、広島県に 1 つクラブが誕生する予定です。
3. 交換のマッチングはどのように決められていますか？
* 毎年、年の始めに、各クラブから可能な時期や希望クラブなど一応の希望を FFI に提出します。それにもとづいて、FFI では 4～6 人のスタッフでマッチングチームを構成し、各クラブの資料を参考にしながら作業を開始します。5,6 月頃マッチング案が各クラブに示されるまで、これは FFI の一番骨の折れる作業と聞いています。今年はコンピューターでその作業をしてみようと初めて試したそうですが、やはりうまくいかなかったと聞きました。
3. 交換で気をつけることは？
* 外国は車椅子での移動に適したところが多いので、アンバサダーが「歩ける」と言う認識が日本国内での認識と違う場合があります。FF では基本的に健康でみんなと一緒に歩けるというのを条件としていますが、思ったより歩けない方が来日されることがありますのでその場合の配慮が必要です。

事務局便り

大木捷代

- * PECS クラブ受け入れ交換 中止
準備快調のさなか、イラク戦争勃発と続く SARS 問題が、社会不安を拡大させ、当初 25 名のアンバサダーが激減し 8 名となり、この時点で中止せざるをえなかった。実に残念無念だが、その代わりブダペストの世界大会でお会いしたいとのこと（ED：TAMAS Jr.からのメールより- 4 月中旬）
- * 「第 27 回世界大会 10 月 30 日～11 月 2 日」
参加申し込み開始
開催：ハンガリーの首都 ブタペスト
費用：はや割り（7/25 まで）\$385
それ以後 \$410
オプションイベント（有料）
大会前のツアー
プラハ、ウィーン、ブラティスラバ
7 日間 \$995（10/23 - 30）
クロアチア、ボスニア \$1,095（11/2-6）
* 大会後ホームステイ \$160（11/2-6）
ご希望の方は事務局まで
- * 今年度会費未納の方はお振込み下さい
- * イスラエルのラアナナクラブ受け入れ
10 月 1 日～7 日
ホスト、デイホストにご協力くださる方は ED 大木までご連絡ください

アジア大会参加者：桜木久幸、中川孝一夫妻**日本大会参加者**：加藤、大木、淡河、岩月
青山、榎本、竹中、鷹野 以上 8 名

- * FF の機関紙 “friendship” より、FFI の会長 Susie Smith さんのリポートを別紙で紹介します。お読みください。
翻訳は加藤八郎さんです。

編集・発行

ザ・フрендシップ・フォース・オブ・愛知

〒468-0045 名古屋市天白区野並 4-48

Tel: 052-895-4765 Fax: 052-895-5272